

浪速区西南地域まちづくりビジョンにおけるラウンドテーブル会議 議事要旨

- 1 開催日時
令和5年8月31日（木）午後2時30分～午後4時30分
- 2 開催場所
浪速区役所 601 会議室
- 3 出席者
学識有識者 阪南大学国際観光学部教授、立命館大学共通教育推進機構教授
地元関係者 浪速地域地域活動協議会会長ほか5名
浪速区役所 幡多区長、世古口副区長、松原市民協働課長、松村教育・学習支援担当課長、
横山市民協働課長代理、森川担当係長
- 4 議題
(1) 座長の選出について
(2) 「西南地域の現況」及び「ビジョンの進捗状況」について
(3) 未利用地を活用したまちづくりについて
- 5 議事要旨
(1) 座長の選出
メンバーの互選により座長を選出
(2) 「西南地域の現況」及び「ビジョンの進捗状況」について
(3) 未利用地を活用したまちづくりについて
会議資料に沿って2案件をまとめて事務局（区役所）から説明し、意見交換を実施

◆意見交換要旨

（発言者：（学）…学識有識者、（地）…地元関係者、（区）…浪速区役所）

【住環境の整備】

- （地）・「なにわ買物センター」について、空いている店舗に入ってもらって、初めて活気がつくんじゃないかと思う。
- （地）・各住宅の下階の店舗付住宅は、シャッターがしまっている。
- （地）・場所（立地）はいいが、いまだに地域への風評被害がある。駅前開発で若い子は増えていて、若い子達は、その歴史的な背景の認識がないから、もうちょっと時間かければ、いろんな店ができて、ポテンシャル発揮するのかなと思っている。
 - ・経済戦略局所管で買物センター、都市整備局所管の店舗付住宅があるけれども、もっと募集してほしいと要望している。そこに若い子が活動できるような形が取れたらと思っている。
- （地）・病院跡地については、マンション予定と聞いた。
- （学）・もと人権博物館の周りの戸建住宅も民泊登録をされているところが多い。民泊の善し悪しはあると思うが、民泊が増えれば商業施設などが増えると思ったが今のところあまりない。少なくとも、人が増えたら需要が出てくるため、商業施設も必要になってくると思う。
 - ・ただ、駅周辺のワンルームマンションはいつ民泊になってもおかしくない。外来者も商業と関わるが、流動性が高まる。
- （地）・今の西南地区では、店とかよりも、空地に建物を建てて入居してもらおうとか、要は、空地进行をどんどん埋めていってもらおうという計画の方が早いのでは。
- （学）・少なくとも、買い手がついて、人が増えたら当然需要が出てくるので、商業施設も必要になってくると思う。
- （地）・みんなが集えるような施設は残してほしいという意見が一番多かった。その本来の必要性はあると思うが、ただ、側面的には、いろんな人が来てもらうというのも大事で、

正直、そっちの方が近道かなとも思う。

- ・浪速区は、町会加入がすごい低く、これも課題。地域としては、たくさん活性化し、いろんな人のにぎわいに繋がるようになれば。
- (学)・確かに空地のままで置いていてもしょうがない。何か建築された方が人口は確実に増えるので、活性化には繋がる。

【教育環境の提供】

- (地)・特に小学校に関しては、学力も上がってきた。
- ・地域の人達の見守りがすごく強い地域。若い保護者も徐々に増えてきている。
- (地)・学校の児童数は横ばいとなっているが、学校選択制の結果であって、実際に居住している児童は増えていて、外国籍の児童も多い。
- (学)・公園で外国籍の高齢者が子どもをあやしていたりしているのを見かけるが、日本語を話せない方が多い。子どもは学校で学ぶだろうが、そういった方々へのサポートはあるのか。
- (地)・子どもから教わっている。
- (地)・かなり二分化している。市営住宅に住んでいる子どもを発達検査に連れて行かないといけないケースも年数回あるが、保護者も日本語を話せないので、学校からの通訳の派遣や、翻訳アプリを使って、保護者と話をしたり、書類の代筆や今後のサポートを相談している。
- ・戸建てに住んでいる人は、コミュニケーションやいろんなネットワークがあると思うが、市営住宅に住んでいる外国籍の家庭はしんどいなって思う。地域の学習ルームに入ってきている子が多いので、サポートは年々かなり増えている。
- (区)・日本語の関係でいうと、成人向けの教室で栄小学校、その他だと立葉小学校、OCAT でも日本語教室をしているが、高齢の方になってくると、ご本人がそういうニーズを持たないとおいでにならない。

【賑わい交流学びの拠点】

- (学)・商業施設はあまりない状況ですが、いかがか。
- (地)・芦原橋駅前のファミリーマートだけ。
- (地)・マンションの1階店舗も店を畳んで、その後、中華系の外国人向けの店舗が開店している。小売・飲食系を誘致するのは難しい。
- (学)・芦原橋駅の北側に行ってもあまりない。そういう意味でいうと、もうちょっと人口というか、人がいりますかね。
- (学)・このビジョン策定時に「住み継ぐ」という表現をしたが、場所への愛着がうまく深まっていけないかと。空地ばかりだと、なかなか記憶を重ねる場所がない。土地があるけれども、無利用の状態。
- (学)・アップマーケットをやっていた頃はよく行かしていただいた。
- (地)・不人気のところは、何らかのイベントができるような制度を作るとか。
- (区)・住宅需要はすごく高いと思っている。
- (地)・芦原橋駅北側は、若い子がワンルームにたくさん住まれている。今後、未利用地の売却がされたら、同じようにワンルームが増えて、若い子が増えるというのは、期待できるかなと思う。
- (学)・来られた单身の方々がいたら、消費もするし、物も買う。
- (地)・店をやってみようかなという呼びかけになれば。
- (区)・空地においておくより一定住む人で埋めていったほうがいいと思った。買う力があつたら、採算が取れるので、自然に任せても、お店が来てくれると思う。購買力が弱いから、やっぱり一定、人を集めていけないといけない。
- (地)・マンションだろうが、空地に建ててくれるというのなら、あんまり難しいことを言わずに、どうぞお願いしますと言って、人口増やしていく方がいい。
- (地)・どんな方が買われるのか、どんな方が住まれるのか、戸建てでもマンションでも、不安はある。ただ、やはり進めていけないといけないと思う。

【コミュニティ】

- (地)・市営住宅に入居するのは要件がきついところがある。若い所帯の2人は入居できるが中高年の1人の住まいだと入居はできない。中高年の人らは一番コミュニケーションも取れて、地域の役員とかに一番なれて、活動してくれる。
- (区)・子育て層を市営住宅にもたくさん呼び込んだ方がいいと思っているが、それは地域的にはどうか。
- (地)・当然増えていただきたい。
- (地)・でも、市営住宅に入居する子育て層はしんどいところがかかなり多くて、地域でサポートしているところももういっぱいになってきている状態。
- (地)・市営住宅の特性で、いわゆる生活弱者が集まりやすい。やはり行政がしっかりと支えてくれないと繋がってくれない。
- (地)・子育て層に入ってもらわないと、学校も維持できない。子育て層を受け入れる体制づくりはしていかないといけないと強く思う。
- (地)・中国の方は町会に加入してくれない。
- (学)・日本の町会にあたるもので「居民委員会」というのがあるが、印象が悪い。
- (地)・ゴミ捨てのマナーも悪く、騒音問題もある。きつく言わないと直らない。
- (学)・日本的な言い方をすると、本当に伝わらない。

【最後にまとめ】

- (学)・未利用地の活用では、地域の意見は、できるだけ人口が増える方がいいから、市場に任せて売れるなら売って、人口増加でまちの流れが変わってきたら、残る未利用地について引き続き活用を検討とするということが共通の理解。
 - ・この地域の特性も踏まえ、いろいろな問題を抱えた人や社会的に弱い方々へのサポートは必要。
 - ・継続的に見守るとして、来年度も集まって意見交換を行う。
- (区)・とにかく住宅を増やして人口を増やしていこうということで進めさせていただいて、私達が行政的にできるサポートをしっかりとしていきたい。
 - ・本日はいろいろなご意見ありがとうございました。